

# 自然教育園見ごろ情報

2026年4月23日号

附属自然教育園

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

アヤメが  
咲きました!



## チョウジソウ

花の下の部分が胴長で、この形が香辛料となるチョウジ（フトモモ科の高木）の花に似ることから、名前がつけました。有毒植物です。川岸の木の下や湿地にまとまって生えます。園芸目的の採集や埋め立てなどにより減少し、絶滅が危ぶまれる植物です。

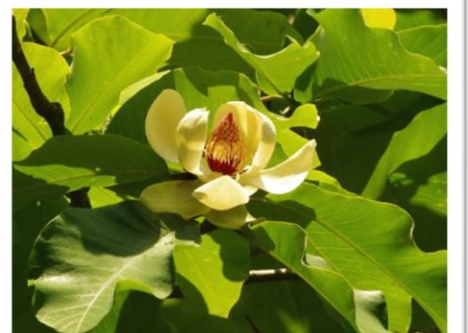


## サワフタギ

沢の上に茂り、沢を覆い隠すことから、「沢蓋木（サワフタギ）」の名前がつけました。純白の花は美しく、よい香りがします。秋（10月頃）につける瑠璃色の実も綺麗ですので、どうぞお楽しみに!



サワフタギの実  
(10月)



## ホオノキ

香りが強い虫媒花をつけるため、多くの虫が花に集まります。朴葉（ほおば）味噌や朴葉餅、朴葉寿司などはホオノキの葉を用いた料理です。



## アヤメ

外側の大きな花びら（外花被片）の根元にある模様が綾目（あやめ）であることが名前の由来とされています。少し乾燥した草地に生育しますが、野生のものはかなり少なくなっています。万葉集などで、菖蒲と書いて「あやめ」と読んでいたのは、ショウブ科のショウブのことで、本種ではありません。



## フクラズメの幼虫

スズメが羽毛を逆立て冬の寒さに耐える様子を「ふくらすずめ」と呼びます。成虫の姿がこの様子をほうつとさせることから、名がつけられたといわれています。カラムシやメヤブマオの葉っぱのうらによくいます。



全域で見られます



## ホウチャクソウ

和名の宝鐸（ほうちゃく）とは、寺院の堂塔の四隅の軒などに吊るす大きな鈴のことで、下向きに咲く花をこれになぞらえています。



## ハクウンボク

満開の白花が白雲を思わせることから「白雲木（はくうんぼく）」の名前がつけました。新しい枝の先に総状花序（そうじょうかじょ）を出し、白い花が20~30個つり下がっています。



地面に落ちた花



## ヤブデマリ

やぶに生え、花序が球形であることから「藪手毬（やぶでまり）」の名前がつけました。中心の小さい花を取り囲むように、ガクアジサイのような装飾花をつけます。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園